

鳥取県知事選挙の結果について

2015年4月

明るい民主県政をつくる会

(1)

12日に投開票された鳥取県知事選挙で、明るい民主県政をつくる会は、岩永尚之氏(日本共産党鳥取県委員会書記長)を会推薦の無所属候補として擁立し、現職の平井伸治氏とたたかいました。

明るい民主県政をつくる会として、候補を擁立して平井候補を相手に知事選挙をたたかったのは、山内淳子さん(新日本婦人の会県本部会長)を擁立してたたかった前々回、前回に続き3回目となりました。また、共産党県役員を無所属候補として擁立してたたかったのは初めてのことです。

岩永候補が獲得した29,425票(得票率11.16%)は、前回を得票数で6,207票、得票率で2.83ポイント上回り、4市15町村のすべてで前回の得票率を上回りました。

平井候補は、全市町村で得票率を減らし、得票数では西伯郡4町村、境港市を除く14市町で前回票を下回り、全体で21,076票減りました。

岩永氏を候補者として決定し発表したのが3月9日と遅れたもとので、健闘したと評価できる得票結果です。

岩永候補へご支持をよせていただいた県民のみなさんに心から感謝申し上げます。

(2)

平井県政に対する県民の認識は、知事自身のテレビへの露出などパフォーマンスもあり、全国一小さな県ながらよくがんばっているというものでした。

私たちは、県民の目線にたつて、県政の実態を告発するとともに、県民の暮らしを応援する県政への転換と県民の要求をかかげた論戦を、岩永候補を先頭に行ないました。

岩永候補が訴えた「自民・公明・民主相乗り県政からの三つの転換」と「くらしと地域を応援する五つの提案」は、訴えが届いたところでは新たな共感が寄せられました。

明るい会と岩永候補の訴えが、県民の思いとかがみあっているだけでなく、平井候補にとって痛いところを突いたものであったことは、県議会の議案に対する共産党県議団の対応批判を街頭で繰り返した平井候補の言動が示しました。

十七日間の短い期間の論戦でしたが、訴えに接した有権者から、街頭で候補者に共感と期待を寄せていただき、選挙事務所に電話で要求の実現を願う声を寄せていただきました。

県民のみなさんの声に応え、県政の転換に努力するとともに、選挙で訴えた要求の実現をめざしてがんばりましょう。